

# 令和8年度 生駒市自主防災会 全体会議

---

令和8年6月6日  
生駒市 経営企画部 危機管理課

# 開会

---

# ○本日の配布資料・投影資料について

---

説明会の配布資料・投影資料について、  
データが必要な方は右記よりダウンロード  
をお願いいたします。



掲載期間:令和8年6月6日~令和9年3月31日

# 本日の案件

---

- 1 自主防災会の目的と役割
- 2 自主防災活動に対する補助及び市の支援について
- 3 令和7年度生駒市総合防災訓練の振り返りと成果
- 4 避難所運営マニュアルの改訂について
- 5 新たな防災気象情報について

# 1 自主防災会の目的と役割

# 自主防災組織(自主防災会)とは

地域の住民が自主的に防災活動を行う組織。



- 役割: ①災害に備えた日常の防災活動(防災知識の啓発や防災訓練など)  
②災害が起こったとき、住民が連携し、共に助け合い、協力し合って被害を最小限に抑える。(避難誘導、情報収集・伝達など)



# 行政と市民の関係



# 生駒市の自主防災組織数(令和8年4月1日現在)

---

|           |           |
|-----------|-----------|
| 生駒市の自治会数  | 129自治会    |
| 自主防災組織発足数 | 124自治会    |
| 自主防災組織数   | 107自主防災組織 |

# 自主防災組織の決まりごと

---

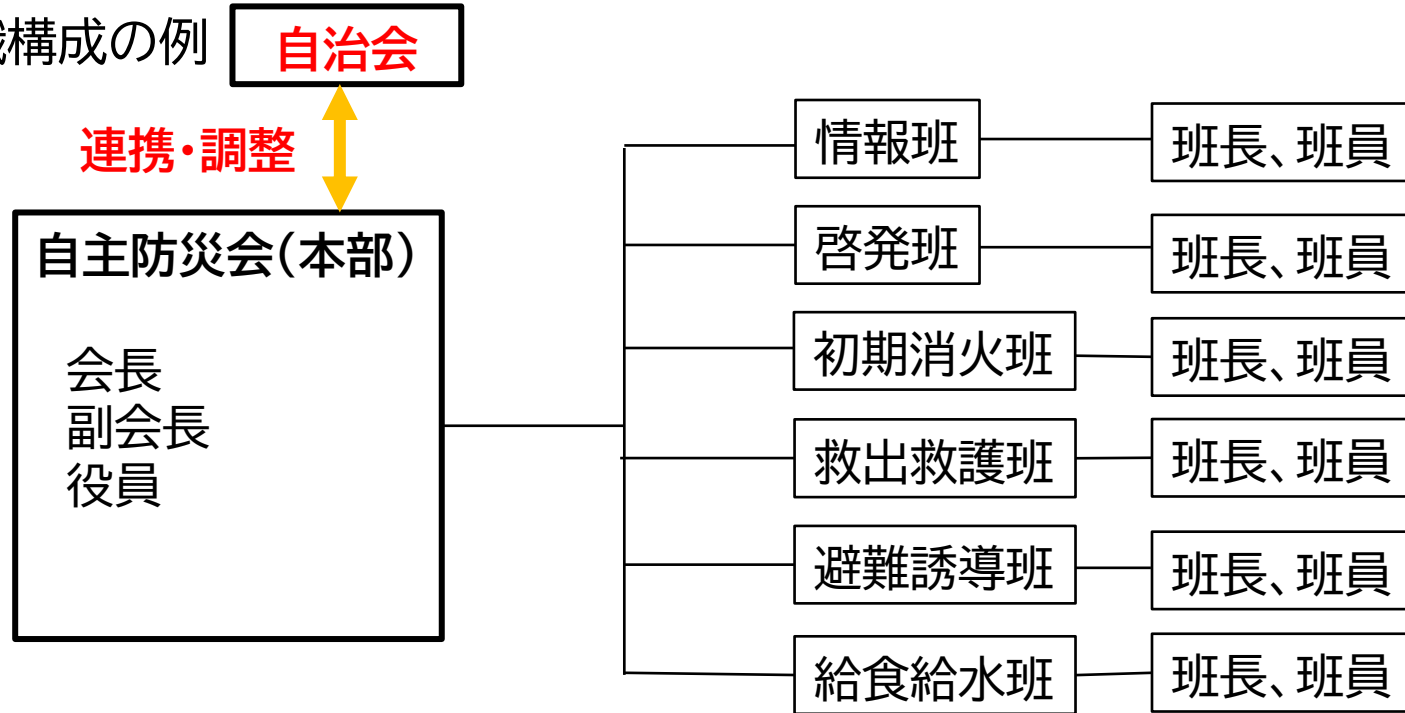
自主防災活動に決まりごとはありません。

## 自主防災活動の3原則

- ①住民みんなで実施すること
- ②政治色や宗教色ぬきであること
- ③活動目標や内容が明確・適切であること

# 自主防災組織の構成

組織構成の例



※それぞれの地域の実情(自治会組織など)にあった班とする。

組織構成はいつでも変更可能です。



# 自主防災組織の役員

---

## 会長、副会長、役員の心構え

- ①会長一人が責任を持って活動しない。
- ②会長を筆頭に役員全員で活動する。
- ③みんなで助け合う。
- ④風通しのよい雰囲気をつくる。
- ⑤「防災訓練、研修会等で得た知見、マニュアル」を  
次の役員に引き継ぐ

# 自主防災組織に参加

人が集まる組織にするには？

- ①新しい会員や多様な世代(子どもから高齢者まで)が参加しやすい組織づくり
- ②防災訓練にイベントを組み合わせる
- ③役員以外の意見も取り入れる



# 自主防災組織の活動

大きく2つ

日常の防災活動

災害時の防災活動



# 災害時の防災活動 **全部覚える必要はありません できることをやってください！**

## ～自主防災活動～



# 日常の防災活動とは

どんな活動があるのか？

- ①防災計画(災害対処計画)、マニュアル等の作成・見直し
- ②防災講座・・・・・・・・・・防災に関する知識を身につける
- ③避難訓練・・・・・・・・・・どのルートでどこに避難するのか
- ④防災マップの作成・・・・・・・・・・地域の危険な場所を知る
- ⑤防災資機材の点検・・・・・・・・・・資機材の状態や数量を確認する
- ⑥防災訓練・・・・・・・・・・消火方法や炊き出し等の実技を行う
- ⑦他の自主防災会との合同訓練・・・他の組織との合同連携訓練



・・・色々な活動があります。

## 2 自主防災活動に対する補助及び市の支援について

---

# 市の補助制度について

---

自主防災会への補助金については、3種類あります。

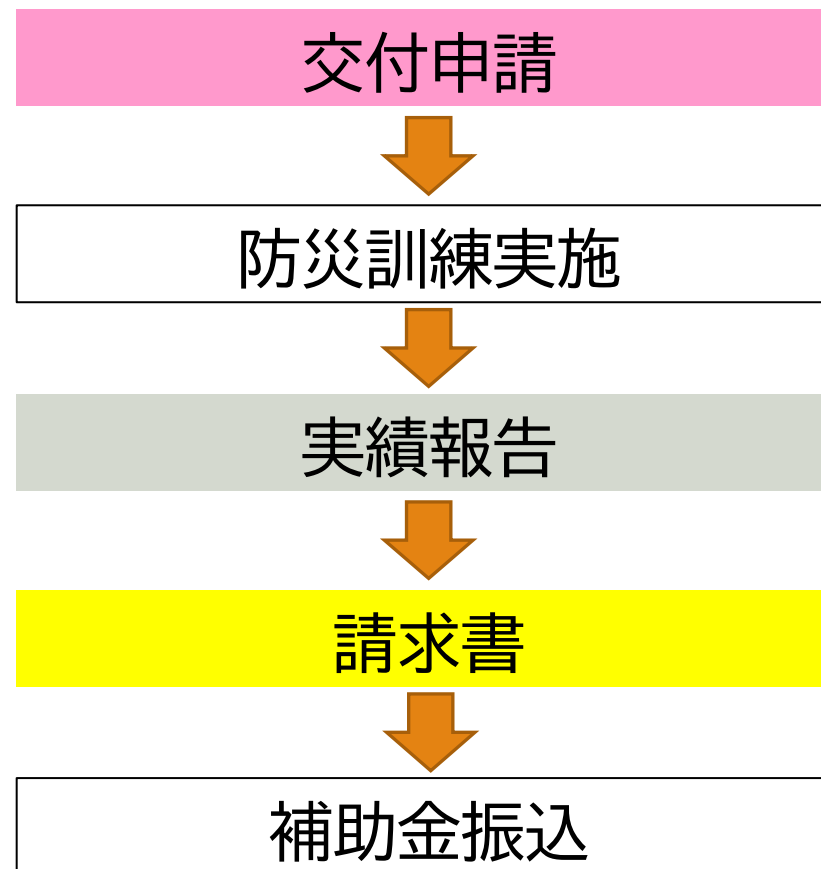
- 資機材等新規整備補助金・・自主防災会発足後、初めて資機材等の整備を行う場合に交付  
※1団体につき1度きり
- 資機材等更新追加整備補助金・・資機材を更新、追加補充する場合に交付  
【対象：前回の補助金の交付を受けた日から5年を経過している自主防災会】
- 活動推進補助金・・防災訓練、講座または研修などを実施する場合に交付  
※1団体1事業／年度

# 活動推進補助金

- ・補助金額:対象経費の1/2
- ・補助金上限:3万円/自主防災会

必ず物品購入の前に  
申請書を提出すること

※購入後の申請はできません

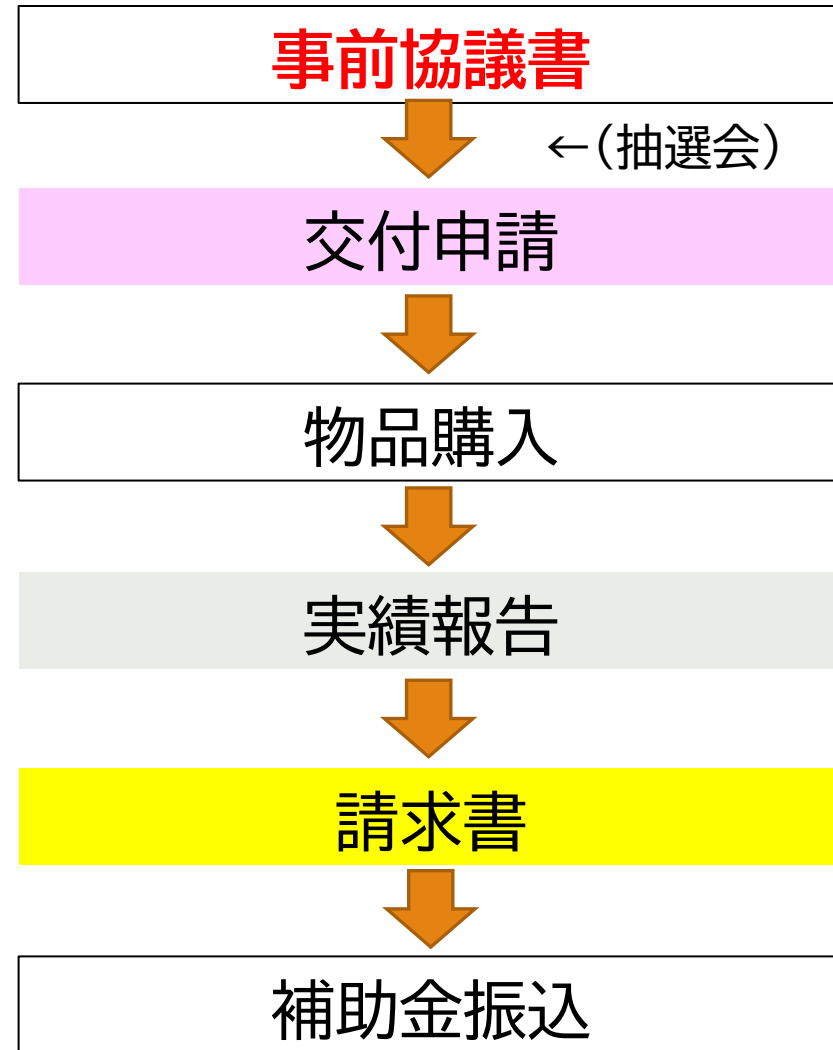


# 資機材等更新追加整備補助金

- ・補助金額:対象経費の1/2
- ・補助金上限:前回交付からの経過年数と世帯数により上限は変わります

※希望団体が多い場合、抽選を行います。  
申請できる団体は一覧表に記載のある団体のみです。

**7/31(金)までに  
事前協議書**を提出すること



# 訓練メニューの紹介

---

手元資料の訓練メニュー表をご覧ください。

- ①難易度を5段階で示しています。
- ②【学び・避難所・地域の防災】のカテゴリーごとに色分けしています。
- ③内容によって危機管理課職員又は消防署員等が講師となります。

⇒できる内容から実施し、徐々にレベルアップを目指す！



現在位置 [ホーム](#) > [防災・防犯](#) > [防災](#) > [情報を集める](#) > [自主防災会のページ](#)

あしあと

[情報を集める](#)

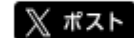
一隠す

- [防災・危機管理のページ](#)
- [ペットの災害対策](#)
- [避難行動要支援者避難支援事業](#)
- [生駒市の防災行政MCA無線](#)
- [浸水想定区域](#)
- [応急手当講習のご案内](#)
- [【重要】弾道ミサイル落下時の行動について](#)
- [「アども110番の家」に関するア](#)

## 自主防災会のページ

[更新日：2024年12月6日]

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



### 「自主防災会」について

大規模な災害が発生したとき、市役所や消防、警察、自衛隊などの公的機関では十分に対応できないことが予測されます。このようなとき、「自分たちの街は自分たちで守る」という意識を持って、地域の皆さんで防災活動、救助活動に取り組む組織が「自主防災会」です。

実際、さきの阪神大震災の際に被災された方々の調査に実施したアンケート調査で、「どのようにして助かったか？」という項目では、レスキュー隊等の公的機関に救助された（公助）方が1割で、自分や家族で脱出、救助（自助）が7割、近隣の人々の救助（共助）が2割というところ。つまり9割の方が家族や近隣等地域の力（自助・共助）で脱出、救助されており、地域における自主防




- 洪水ハザードマップを作成しました
- 生駒市国民保護協議会のページ
- 災害情報の取得方法
- 自主防災会のページ
- ハザードマップ
- 降雨情報の提供  
[別ウィンドウで開く](#)
- 応急仮設住宅建設候補地
- 災害用伝言ダイヤル171のサービス拡大について
- 妊娠中のママから子育て家族のための「防災BOOK」ができました
- 災害情報メール通知サービス
- 非常持ち出し品
- 地震に備える
- 援助・救護が必要な方への心配り

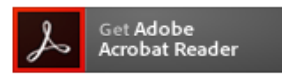
## 防災訓練、研修等について

危機管理課では防災に関する研修や出前講座等実施しております。「資機材使用訓練」、「避難訓練」、「安否確認訓練」、「救命処置（心肺蘇生法・AED）訓練」、「給食給水訓練」、「避難所開設訓練」等、実技を伴う訓練等も消防署等と連携しておりますので、ご相談ください。自主防災会の防災訓練等に限らず、自治会の自主防災会結成に向けての説明会なども実施しております。

詳しくは訓練メニューをご覧ください。

### 訓練メニュー

 [防災訓練メニュー \(PDF形式、335.12KB\)](#)



PDFファイルの閲覧には Adobe Reader が必要です。同ソフトがインストールされていない場合には、[Adobe 社のサイトから Adobe Reader をダウンロード（無償）してください。](#)

## 自主防災会へのサポートについて

防災に関する訓練、講座、説明会等への職員派遣、研修用DVD等の貸出、また、自主防災会の結成に際しては、住民世帯数に応じて防災用資機材購入に対しての補助金などがあります。詳しくは危機管理課までお問合せください。

# 研修会の実施について

## 研修会の背景・狙い等

【多くの地域の自主防災活動で見られる状況】

◎役員が多くが1年で交代

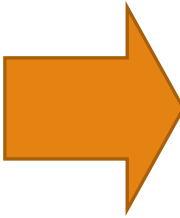
多くの場合、経験・知識不十分のまま災害に対応、訓練等を企画・実施  
⇒何を、どうするべきかわからない⇒不安や悩み・困惑、前例踏襲の訓練等

ある程度理解・知識が向上すると交代

⇒活動の経験の積み上げ・継承が困難⇒対応の改善、訓練の発展が進みにくい

●希に誤った知識や誤解に基づいた対応を考えられている例も





地域における防災活動の主体が

◎**組織**として、災害時にどのように対処すべきか

◎活動の経験を「**地区防災計画**」等として取りまとめ、継承・改善していく手法等

についての**研修会を実施**

「風水害編」 「地震災害編」 「地区防災計画作成編」

対象者：自主防災会の役員や自治会の防災担当の方  
(特に**新たに就任された方**や**活動に不安のある方**)

# 研修会日程表

| 実施日      | 時間          | 会場         | 対象地区    | 内容         |
|----------|-------------|------------|---------|------------|
| 6月16日(火) | 14:00~16:00 | 市役所大会議室    | 全地区対象   | ①風水害時の対応   |
| 6月17日(水) | 18:30~20:30 | 市役所大会議室    |         |            |
| 7月12日(日) | 10:00~12:00 | 市役所大会議室    | 西地区・中地区 | ②地震災害時の対応  |
| 7月18日(土) | 10:00~12:00 | 北コミはばたきホール | 北地区     |            |
| 7月26日(日) | 10:00~12:00 | 南コミせせらぎホール | 東地区・南地区 |            |
| 8月9日(日)  | 10:00~12:30 | 市役所大会議室    | 西地区・中地区 | ③地区防災計画の作成 |
| 8月22日(土) | 10:00~12:30 | 北コミはばたきホール | 北地区     |            |
| 8月29日(土) | 10:00~12:30 | 南コミせせらぎホール | 東地区・南地区 |            |

# 研修会への出席について

## ①風水害時の対応

地域内に「洪水浸水想定区域」や「土砂災害警戒区域等」のある団体は極力ご参加ください。地区の指定はなく、実施いたしますので、ご都合の良いいずれかの日時にご参加ください。

## ②地震災害時の対応、③地区防災計画の作成

地区内の自治会・自主防災会の交流も兼ねて実施しますので、各地区の回に極力ご参加ください。但し、ご都合のつかない場合等は他の日時にご参加いただいても構いません。



出席報告は6月10日(水)までに電話、FAX、メール、窓口、上記LoGoフォームのいずれかにてご報告ください。

# 「地域における災害対処の手引き」について

---

自主防災会の役員や自治会の防災担当役員等の方々を対象にした冊子「地域における災害対処の手引き」を作成し、市ホームページでご覧になることができます。

研修会にご参加いただいた皆さまには、当日紙での資料をご用意する予定です。



現在位置 [ホーム](#) > [防災・防犯](#) > [防災](#) > [情報を集める](#) > [自主防災会のページ](#)

あしあと

[情報を集める](#)

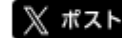
一隠す

- [防災・危機管理のページ](#)
- [ペットの災害対策](#)
- [避難行動要支援者避難支援事業](#)
- [生駒市の防災行政MCA無線](#)
- [浸水想定区域](#)
- [応急手当講習のご案内](#)
- [【重要】弾道ミサイル落下時の行動について](#)
- [「アども110番の家」に関するア](#)

## 自主防災会のページ

[更新日：2024年12月6日]

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます



### 「自主防災会」について

大規模な災害が発生したとき、市役所や消防、警察、自衛隊などの公的機関では十分に対応できないことが予測されます。このようなとき、「自分たちの街は自分たちで守る」という意識を持って、地域の皆さんで防災活動、救助活動に取り組む組織が「自主防災会」です。

実際、さきの阪神大震災の際に被災された方々の調査に実施したアンケート調査で、「どのようにして助かったか？」という項目では、レスキュー隊等の公的機関に救助された（公助）方が1割で、自分や家族で脱出、救助（自助）が7割、近隣の人々の救助（共助）が2割ということでした。つまり9割の方が家族や近隣等地域の力（自助・共助）で脱出、救助されており、地域における自主防



## 自主防災活動について

自主防災会の役員や自治会の防災担当役員等の方々を対象にした冊子「地域における災害対処の手引き」を作成しました。




組織として自主防災活動をどう進めていくか、また災害発生時の対応等を明記しており、自治会・自主防災会としての対処マニュアルや「地区防災計画」の作成の参考になればと思っております。

第1弾は「風水害編」です。

第2弾は「地震災害編」です。

第3弾は「地区防災計画編」です。

### 「地域における災害対処の手引き」

-  [地域における災害対処の手引き（風水害編）（PDF形式、1.13MB）](#)
-  [地域における災害対処の手引き（地震災害編）（PDF形式、907.14KB）](#)
-  [地域における災害対処の手引き（地区防災計画作成編）（PDF形式、2.05MB）](#)

# 生駒市総合防災マップ 2023保存版

- これまでのハザードマップを一冊にまとめた防災情報冊子
- 令和5年6月頃に全戸配布完了
- 日頃の備えについて家族で話しあうきっかけに
- 避難所を確認し、マップに避難経路を書き込む等、各家庭でマップを使いこなしましょう！
- WEB版は市ホームページで公開中
  - ※土砂災害警戒区域等・浸水想定区域は2023年以降も追加指定されているため、最新のハザードマップは電子版で確認する必要があります。



# 令和8年度自主防犯・防災リーダー研修 【防災士養成講座】開催案内について

---

A日程もしくはB日程の2日間の全講義を受講し、かつ所定のレポートを提出した方は、日本防災士機構が実施する「**防災士資格取得試験(有料)**」を受験することができます。

# 令和8年度自主防犯・防災リーダー研修 【防災士養成講座】開催案内について

---

- 日程 ・A日程 ①9月13日(日) ②10月11日(日)
- ・B日程 ③9月26日(土) ④11月 7日(土)

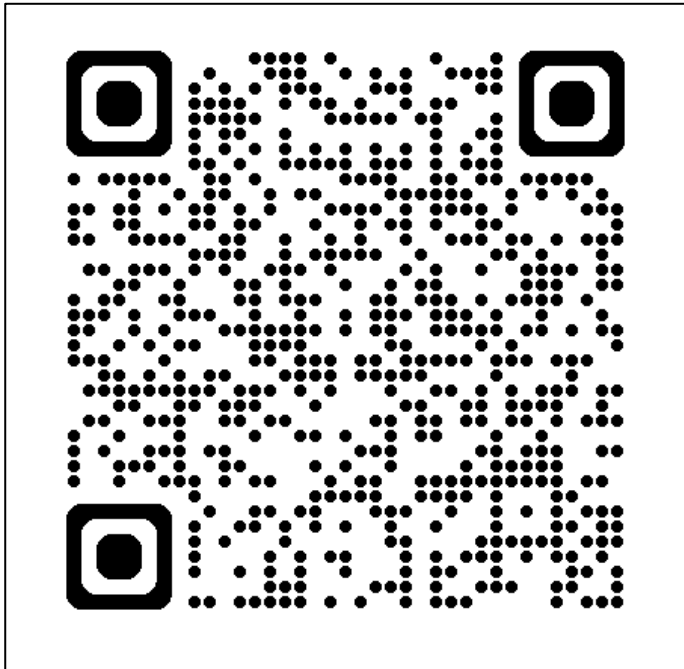
※AとBの研修日を組み合わせでの受講はできません。

- 募集定員 ・A日程 290名 ・B日程 170名

- 募集期間 ・令和8年7月1日(水)～7月24日(金)

# 令和8年度自主防犯・防災リーダー研修 【防災士養成講座】開催案内について

---



## ■ 申込方法

- ・奈良スーパーアプリにて電子申請。  
電話・FAX・メール等不可

← 奈良スーパーアプリ「QRコード」

# メールでの事務連絡に関するご協力依頼

---

危機管理課から各自主防災会へのお知らせなどについては、昨年度よりメールでのご連絡を基本としております。

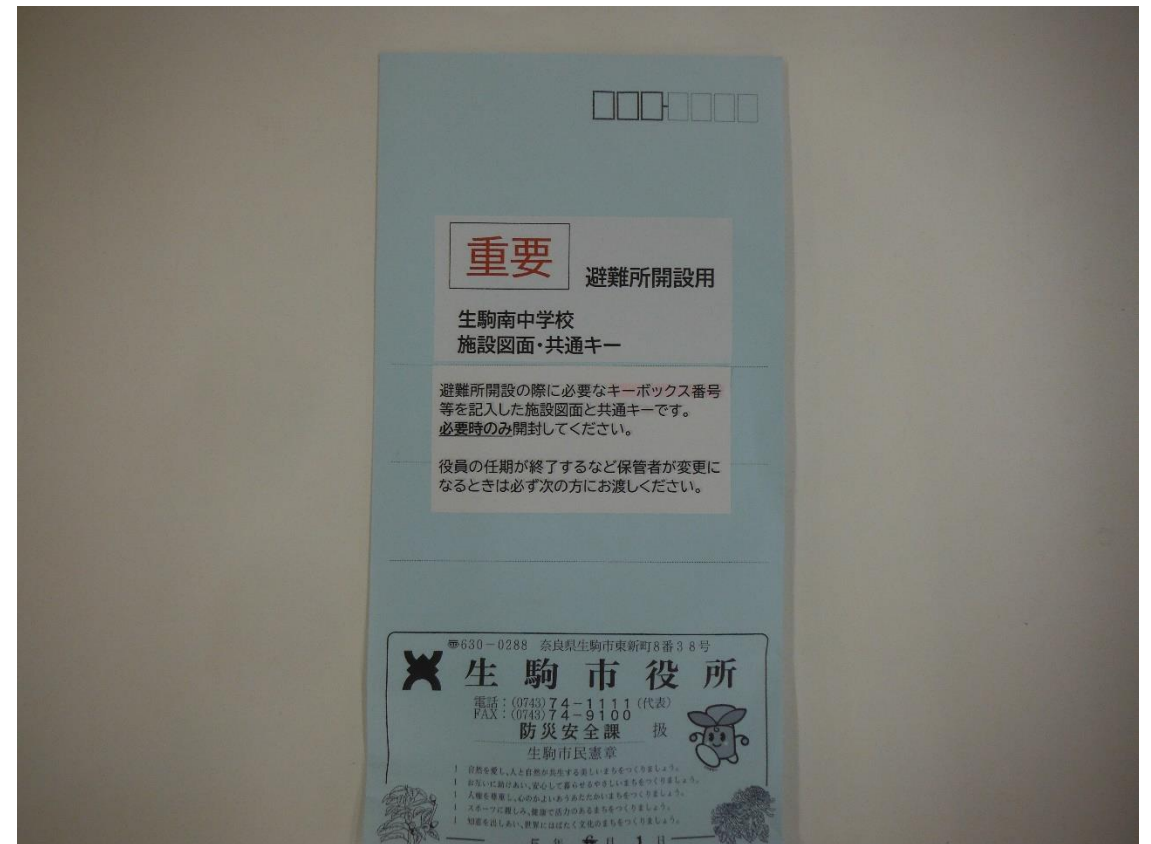


各自主防災会の代表の方1名(会長以外でも可)のメールアドレスをQRコードよりご登録ください。

登録締切:令和8年6月30日

# 避難所キーボックス暗証番号・ 防災コンテナ鍵保管者報告書について

地域の代表者等に配布している封筒 →



# 3 令和7年度生駒市総合防災訓練の 振り返りと成果

---

# 令和7年度生駒市総合防災訓練

## 第1弾 帰宅困難徒歩訓練

実施日 令和7年4月27日(日)



コース



▲阪奈道路



▲鶴見緑地公園(出発時)



(完歩賞の授与)

### 目的

南海トラフ巨大地震発生時等に想定される帰宅困難に備え、市民が比較的安全な帰宅ルート歩き、困難度や必要な備えを確認する。

### 実施概要

大阪市の鶴見緑地公園から生駒市役所まで、次の2コースに分かれ徒歩訓練を行った。

A 生駒山麓公園コース(約18km)

B 生駒山上遊園地コース(約20km)

### 結果

30歳代~70歳代の市民及び職員34名が参加。

◇参加者の62%が「きつかった」と回答。

◇参加者全員が、今回の訓練に参加して「日ごろの備えを見直したい」と回答。

### 今後に向けて

◇発災直後は、混乱も生じることから「歩いて帰ることが適切か」冷静に判断することの重要性を啓発していく。

◇職場での待機や徒歩での帰宅に備えて、簡易食料や運動靴の準備をしておくことの重要性を啓発していく。

## 第2弾 防災講演会・防災マルシェ

実施日 令和7年10月19日(日)

場所 たけまるホール(講演会)

### ▼正木 明氏の講演



### 実施概要

講師 正木 明 氏(天気予報士、防災士)

◇近年の異常気象や天気図の見方、過去の震災での体験談や今すぐに始められる備えについての講演会を実施。

### 結果

◇「防災」について、98%の方が理解が深まったと回答。

◇家族間での話し合い、ハザードマップの確認等、「自助」の意識が高まった。

## 第2弾 防災講演会・防災マルシェ

実施日 令和7年10月19日(日)

場 所 ベルテラスいこま ベルステージ(マルシェ)



▲クイズラリー受付

### 目的

防災に関する啓発、体験、防災物品の販売を各事業者が行い、自助の向上(各家庭での備えの推奨)に繋げる。

### 実施概要

- ◇災害応援協定事業者を中心に14団体が参加。
- ◇NPO法人市民活動サークルえんと共催で行い、「防災クイズラリー」で全ブースを回るような仕組み作りを行った。

### 結果

- ◇災害時に必要な備蓄品や避難時の非常持ち出し品について知識を深めた。
- ◇災害時の公共サービスやボランティア団体の行動を理解した。



▲災害用伝言ダイヤル171の利用体験

### 今後に向けて

- ◇ハザードマップ、家庭内備蓄、非常持ち出し品の確認を市民に啓発していく。
- ◇防災訓練や啓発活動にあたっては、協定事業者のさらなる参画を推進する。

# 第3弾 避難所宿泊訓練

実施日 令和7年11月1日、2日

場所 生駒市体育協会滝寺S.C.

|    |                                      |
|----|--------------------------------------|
| 結果 | ◇市職員、他自治体職員、一般市民、協定事業者等総勢254名が参加した。  |
|    | ◇実際の避難所の設営や運営を体験し、設営のイメージが深まった。(98%) |
|    | ◇家庭の備蓄や非常持ち出し品について見直そうと思った。(97%)     |
|    | ◇災害時には避難所の運営に積極的に協力したいと思う。(92%)      |
|    |                                      |



▲資機材を使用した宿泊訓練



▲グループワーク(各地区ごと)

|        |   |
|--------|---|
| 今後に向けて | ◇本訓練をふまえ「避難所運営マニュアル」を見直す。⇒今回、紹介します。   |
|        | ◇だれが避難所に到着しても開設できるように、開設に必要な手順書や必要物品を入れた「First Action Box」の設置と各避難所のレイアウト作成する。⇒今年度から着手 |

# 第3弾 避難所宿泊訓練

実施日 令和7年11月1日、2日

場所 生駒市体育協会滝寺S.C.

## 目的

発災後、ライフラインが止まっている想定で避難所の開設～運営を行うことで、地域や職員それぞれの役割を確認し、各家庭や自主防災会での備蓄の再検討に繋げる。



▲携帯トイレ

## 実施概要

LINEを利用した受付、携帯トイレ訓練、キッチンカーによる炊き出し訓練、給水車による給水訓練、スカウト協議会による防災レクリエーション、段ボールベッドやパーティションを使った宿泊訓練

▲LINEを利用した入退所



▲北地区（起震車による地震体験）

| 目的                                    |
|---------------------------------------|
| 大規模災害発生時の地域及び市民の対応力と防災意識、技能、知識の向上を図る。 |



▲西地区（香芝市赤十字奉仕団による紙芝居）

## 実施概要

- ◇地区（北、西、中、東、南）ごとに、指定避難所等で避難誘導、安否確認、避難者の受け入れ、避難所の環境整備等の訓練を11か所で行った。
- ◇補助率10割の補助金交付や危機管理課職員に伴走支援、そして各地区の協力職員が訓練へ参加した。



▲ 中地区（段ボールベッド設営）



▲ 東地区（発電機操作訓練）



▲ 南地区（有事の時の判断ゲーム）

## 結果

- ◇各地区で複数の自治会が連携して実施し、約3,500人の市民が参加した。地区内の連携が深まり、共助の向上につながった。
- ◇こどもたちの興味を引くコンテンツを盛り込むことで普段の防災訓練には参加されない層の子育て世代や女性の参加が多く、自助や共助の向上に大きくつながった。
- ◇地区ごとの防災力の現状や課題を認識するため、全ての訓練に参加し、危機管理課及び協力職員と地域との顔の見える関係が構築できた。

## 今後に向けて

避難所単位での実動型訓練や自治会及び自主防災会間での連携を推進できるよう地域の取り組みを後押ししていく。

# 第5弾 災害対策本部職員訓練

実施日 令和7年11月～令和8年1月 訓練本番 令和8年1月21日(水)



▲被害状況の確認(奈良県警、自衛隊)

**目的**

大規模地震を想定し、被害情報等に基づく対処を検討し、市災害対策本部の意思決定要領を訓練する。



▲コントローラー(別室)による当日状況付与

## 実施概要

各班が3か月に渡って、予想されるさまざまな状況に対して対応策・報告内容を検討し、総合防災システムの入力方法についてもスキルアップし、訓練当日は災害対策本部会議を軸に訓練を行った。



▲マルチディスプレイを用いた情報共有



▲災害対策本部会議の様子

## 結果

- ◇奈良県、奈良県警、自衛隊等含む93名が参加した。
- ◇災害時における主要な対処事項と必要な情報について各班整理ができた。
- ◇12画面のマルチディスプレイを用いて、対策本部での情報集約と意思決定について効果的に訓練ができた。

## 今後に向けて

- ◇会議等でモニター投影する(整理・共有すべき)情報についての改善が課題
- ◇受援体制の整理
- ◇各部班の任務への更なる理解を推進

# 4 避難所運営マニュアルの改訂について

# 避難所運営マニュアルの改訂要旨

現行の最終改訂は平成26年

なぜ今改訂？

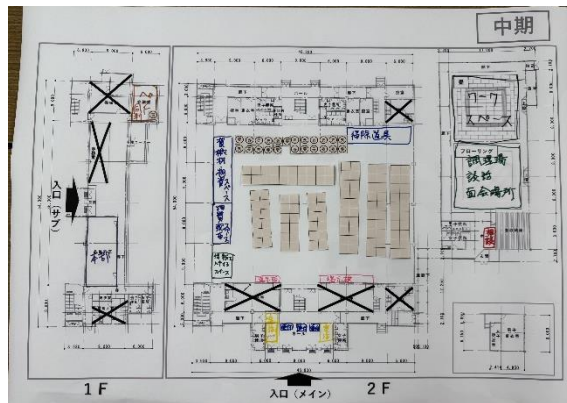
## 1 国の取組指針がR6.12に改訂

「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」がR6.12月に改定  
スフィア基準の「基本行動」を参考に改訂



## 2 訓練の知見を形に

実際の訓練で見た課題を反映



どんな内容？

# 資機材を整備・配置

「良好な生活環境」の確保に向け、R7・8年度に  
パーティションと段ボールベッドを1,000台ずつ購入



要配慮者への対応として  
各小中学校に配備

各避難所での割り振りや要配慮者への配布基準をマニュアル化

マニュアルP.62-65



▲パーティション



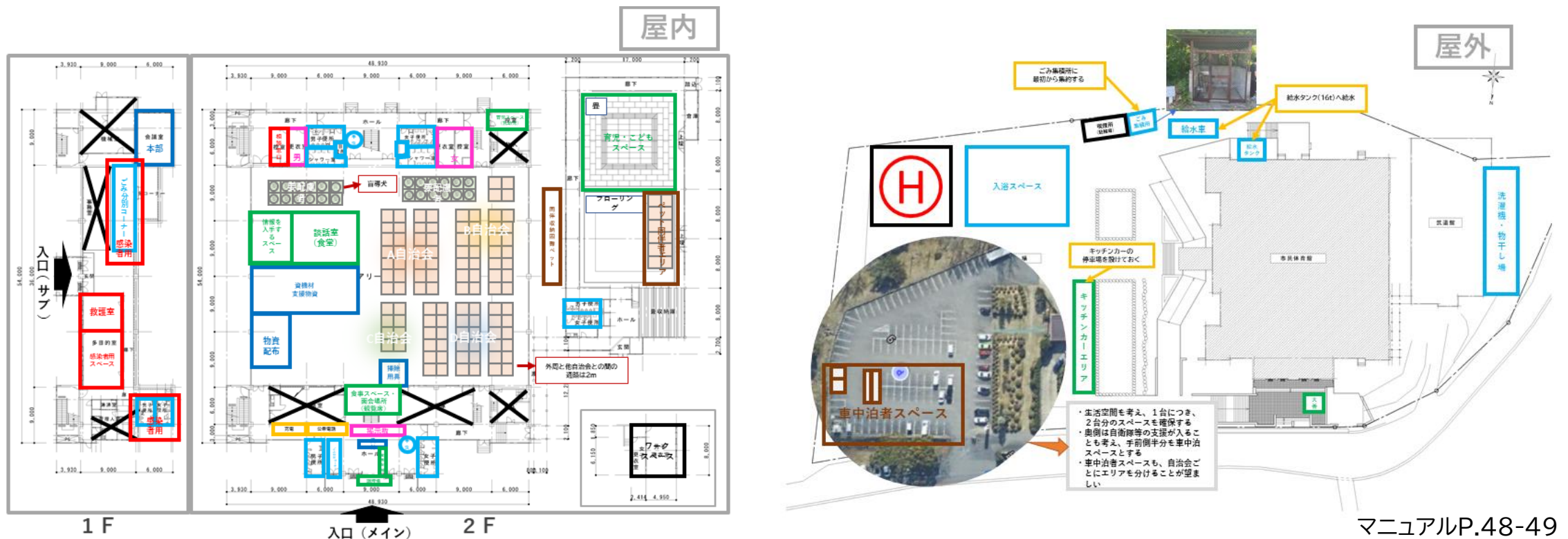
▲段ボールベッド

どんな内容？

# 多様性を重視した標準レイアウトの作成

要配慮者スペース、育児スペース、家族形態による居住スペースの振り分けなど、  
多様性を重視したレイアウトを作成

避難所の早期開設には各避難所ごとのレイアウトが必要。今後各避難所で研修予定



▲標準レイアウト

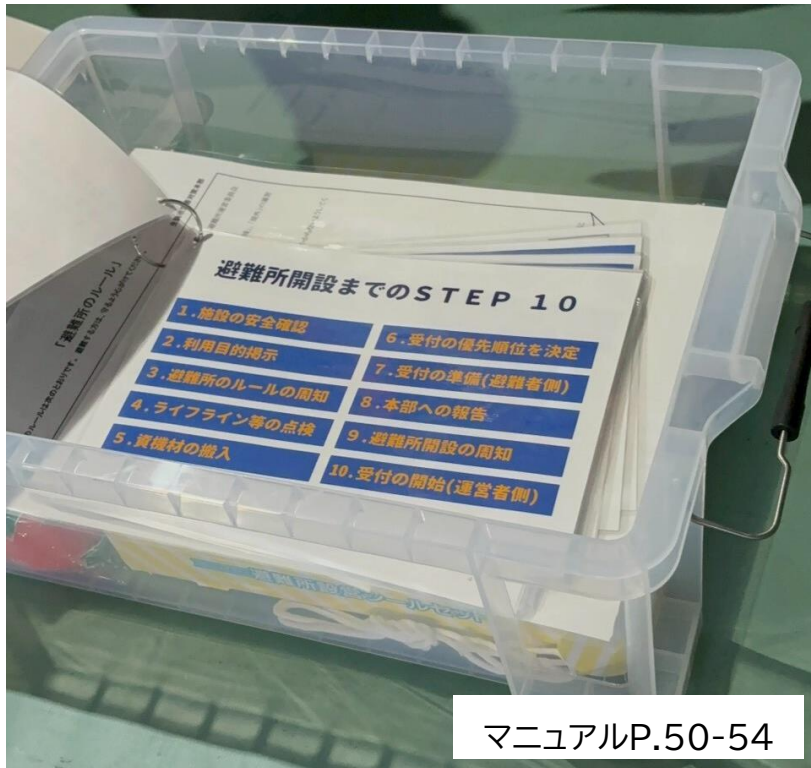
どんな内容？

# First Action Boxの設置

避難所開設までの手順書やレイアウト、DX化した避難者把握システムの説明など、開設に必要なグッズが入っている「First Action Box」。今年度各避難所に順次配置。

避難所運営の開設手順を章立てしマニュアル化

マニュアルP.11-19



▲First Action Boxと手順書



▲シールセット



▲掲示物・懸垂幕等

どんな内容？

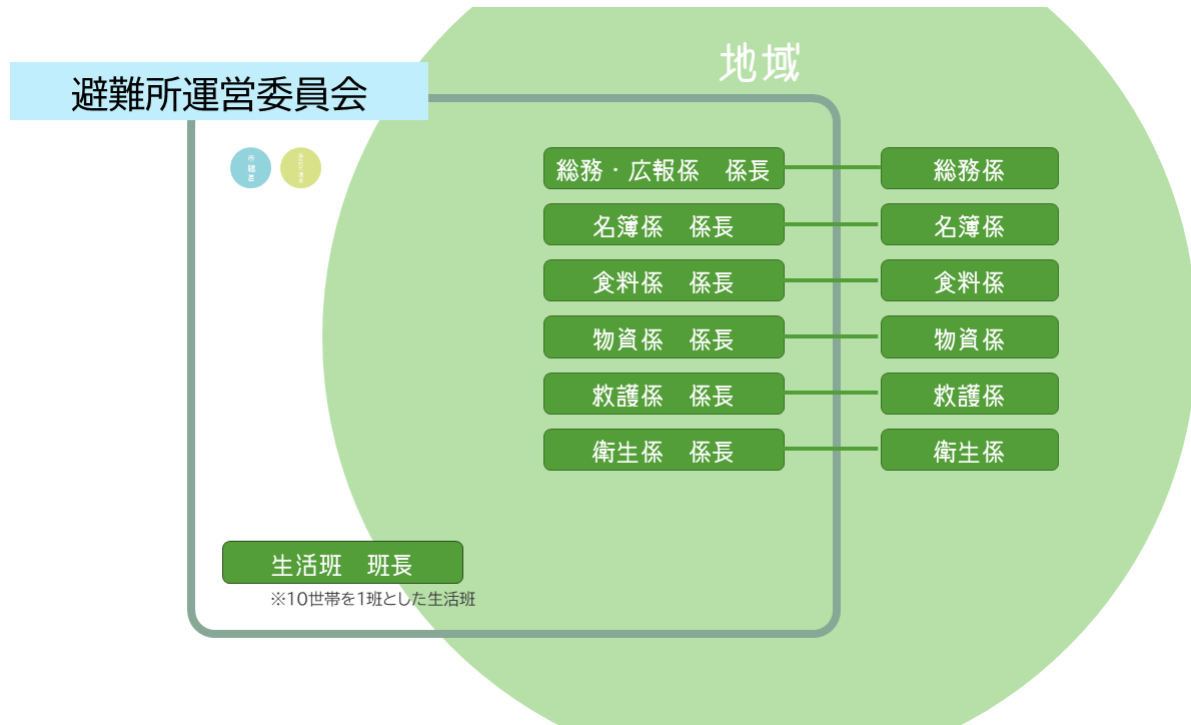
# 避難所運営委員会の見直し

8つの運営係を6つへ。

仕事量を調整し、持続可能な運営体制へ。

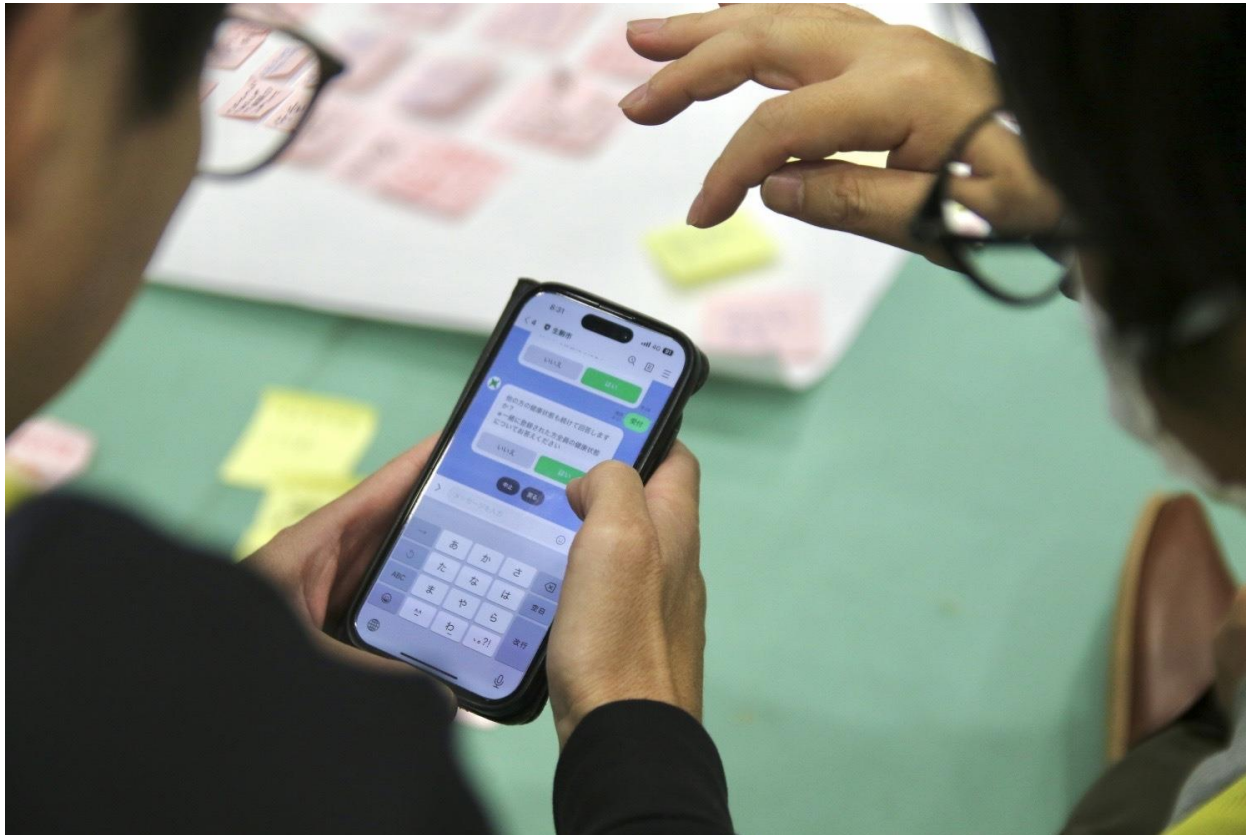
各係の仕事内容を整理し、マニュアル化

マニュアルP.33-39



避難所宿泊訓練で実証実験を行ったLINEを利用した避難者把握システム。地域の訓練でも使用できます。

受付・退所、避難所外被災者の登録方法等マニュアル化



## LINEを使った避難所への受付

避難所の受付の際に、ご自身の情報をQRコード化したものを読み取ります。次の手順に従って、ご準備ください。

### <QRコードの作成手順>



# 5 新たな防災気象情報について

---

# 新しい防災気象情報(5月29日から開始)

| 警戒<br>レベル | 市町村が発表        | 気象台が発表（防災気象情報：気象警報・注意報等）    |                          |                           |                             | 住民が<br>とるべき行動  |  |
|-----------|---------------|-----------------------------|--------------------------|---------------------------|-----------------------------|----------------|--|
|           | 避難情報等         | 河川氾濫<br>1級河川などの<br>大きな河川の氾濫 | 大雨<br>低地の浸水や<br>大河川以外の氾濫 | 土砂災害<br>急傾斜地のがけ崩れや<br>土石流 | 高潮<br>海水面の上昇や<br>波の打上げによる浸水 |                |  |
| 5         | 緊急安全確保        | 5<br>相当                     | レベル5<br>氾濫特別警報           | レベル5<br>大雨特別警報            | レベル5<br>土砂災害特別警報            | レベル5<br>高潮特別警報 | 命の危険<br>直ちに安全確保！                       |
|           |               | ＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞  |                          |                           |                             |                |  |
| 4         | 避難指示          | 4<br>相当                     | レベル4<br>氾濫危険警報           | レベル4<br>大雨危険警報            | レベル4<br>土砂災害危険警報            | レベル4<br>高潮危険警報 | 危険な場所から<br>全員避難                        |
| 3         | 高齢者等避難        | 3<br>相当                     | レベル3<br>氾濫警報             | レベル3<br>大雨警報              | レベル3<br>土砂災害警報              | レベル3<br>高潮警報   | 避難に時間を要する人<br>は早めに避難、避難の<br>準備など       |
| 2         | (気象台が発表する情報→) |                             | レベル2<br>氾濫注意報            | レベル2<br>大雨注意報             | レベル2<br>土砂災害注意報             | レベル2<br>高潮注意報  | 避難行動を確認（避<br>難場所や避難ルート、<br>避難のタイミングなど） |
| 1         | (気象台が発表する情報→) |                             | 早期注意情報                   |                           |                             |                | 災害への心構えを高める                            |

# 避難行動判定フローおよびチェックリスト

## 土砂災害・風水害の避難行動判定フロー

ハザードマップで自宅がある場所に色が塗られている

はい

被災の可能性あり。原則、  
自宅の外に避難が必要

いいえ

原則、避難の必要なし。停  
電や断水に備える

はい

避難に時間がかかる人がいる

はい

警戒レベル3で避難



いいえ

警戒レベル4で避難



## チェックリスト

- 自宅が土砂災害警戒区域や浸水想定区域に入っているか
- 近くの緊急避難場所と安全な避難経路
- 家族との連絡方法
- 非常持出品、家庭での備蓄
- 正確な情報の入手方法

# 質疑応答

---

閉会

---